

西宮YMCA保育園 9月えんだより

年主題 『イエスさまとともに生きる～愛の交わりの中で～』

年主題聖句 「愛する者たち、神がこのようにわたしたちを愛されたのですから、
わたしたちも互いに愛し合うべきです。」
＜ヨハネの手紙Ⅰ 4章11節＞

保育園が法律の定めにある「保育所」から「認定こども園」に変わって3年が経ちました。とは言っても西宮市はまだまだ待機児童も多いので、YMCAの保育園は保育を必要とする家庭の子どもの場であることは変わらず、保護者にとって保育園がどのように変化したのかわからないままのご家庭も多いのではと思います。昨年度は保護者の有志にお集まりいただき、園についてどのように感じているかお聞きする機会を持ちました。その機会にぜひこれまで聞きたかったこともお聞きしようと思い、冒頭にこちらから保護者に質問をしたのは「どうしてYMCAの保育園に入られたのか」ということです。無論、「市にあっせんされたので」と答える方もおられましたが、うれしかったのは「上の兄弟が通っていた時によかったので」といわれる方もいました。幼稚園のように入るところを選ばならまだしも保育園のようにその時の縁で入ることになった出会いの中で、子どもを、ご家庭をどこまで受け止めて歩んでいけるか、ということについて試されるような気持ちを抱くことがあります。

キリスト教の中では、意図していない出会い、つながりを「招かれる」という言葉でよく表されています。神様に「招かれる」中で、子どもたちも、ご家庭も、また職員もこのYMCAで出会い、互いに成長をしてよくなっていきます。聖書では弱いもの、疎んじられているもの、影のあるものにも、イエス様が「隣人」として招く場面やたとえ話が出てきます。保育園でも、つながりの中で一歩相手に、そして互いに歩み寄る中で、認められるうれしさ、信頼を感じる喜びの場面が毎日子どもたちの間で見られています。今月の聖句では陰日向ものであったザアカイに、あえてイエス様が声をかけ、ザアカイが喜び弾んでいる様子を表しています。その後ザアカイがどのようになったかは書かれていませんが、その喜びはきっと人生を変えるものだったことでしょう。「招かれた」中で「みつかる。 つながる。 よくなっていく。」がいつも豊かにある保育園を目指して歩んでまいりたいと思います。

9月の聖句 「ザアカイは急いで降りて来て、喜んでイエスを迎えた」
＜ルカによる福音書 19章6節＞

9月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	いっしょに	いっしょに
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> * 保育者や友だちと一緒に体を動かす遊びを楽しむ。 * 走ったり跳んだり体を十分に動かす。 * 新しい経験をする。 	<ul style="list-style-type: none"> * 体を動かすことの気持ち良さがわかる。 * 友だちと協力して、取り組むことのおもしろさを経験する。 * 新しいことも気持ちを向けてやってみようとする。 * 季節の移り変わりに気づき、身近な自然と触れ合って遊ぶ。
讃美歌	こすずめもくじらも	